



平成 2 3 年度

幼稚園教職 1 0 年経験者研修の手引



栃 木 県 教 育 委 員 会

目 次

I	幼稚園教職 10 年経験者研修実施要項	1
II	幼稚園教職 10 年経験者研修の概要	
1	本県における幼稚園教職 10 年経験者研修の方針	2
2	幼稚園教職 10 年経験者研修体系図	3
III	受講手続きの流れ	
1	公立幼稚園	4
2	国・私立幼稚園	5
IV	総合教育センター等における研修	
1	趣旨	6
2	日程及び内容	6
3	選択研修	7
V	園内等における研修	
1	趣旨	8
2	研修日数	8
3	研修内容及び方法	8
4	指導体制	8
5	実施上の配慮事項	8
VI	課題研究	
1	趣旨	9
2	研究テーマの設定	9
3	研究の進め方	9
4	研究の実施報告	9
〔資料〕		
○	提出書類の様式	11
○	特別支援学校の連絡先	19
○	幼稚園教職 10 年経験者研修評価表	20
○	研修計画書（例）	22
○	園内等における研修項目（例）	24
○	提出文書等チェックリスト	26

I 幼稚園教職10年経験者研修実施要項

栃 木 県 教 育 委 員 会
平成16年1月 7日 決 定
平成21年3月13日 改 正

1 目 的

本研修は、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性等に応じた研修を実施し、中堅教員としての指導力の向上を図ることを目的とする。

2 対 象

県内公立幼稚園の教諭等のうち、在職期間が11年を迎える者とする。ただし、国・私立幼稚園の教諭等の参加も認めることとする。

3 内 容

幼稚園教職10年経験者研修（以下「経験者研修」という。）は、保育の専門性を高める研修や今日的課題についての研修などを主な内容とし、次の日数行うものとする。

- (1) 総合教育センター等における研修 6日
- (2) 園内等における研修 10日

4 研修の実施方法

- (1) 園長は、研修の実施に当たり、公立幼稚園においては市町村教育委員会、国・私立幼稚園においては任命権者に当たる者（以下「任命権者」という。）の作成した評価基準により、事前に観察などを通して、個々の教諭等の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案及び研修計画書案を作成し、任命権者に提出する。
- (2) 任命権者は、園長から提出された評価案と研修計画書案について調整を行った後、最終的に評価を決定し研修計画書を作成する。
- (3) 経験者研修の対象者は、研修計画書に基づき、長期休業期間等に、総合教育センター等において、保育に関する専門的研修等を年間6日受けるものとする。
- (4) 経験者研修の対象者は、研修計画書に基づき、主として園内において、課業期間に実際の保育実践を通じた保育研究や課題研究等を通じた研修を年間10日受けるものとする。
- (5) 園長は、研修終了時に、個々の能力、適性等の評価を再び行い、その結果に基づき報告書を作成し、任命権者に提出する。また、評価の結果はその後の研修等に活用するものとする。

5 研修体制の整備

- (1) 園長は、研修計画書に基づく研修が円滑に実施できるよう、研修環境の整備に努めるものとする。
- (2) 園長は、経験者研修の実施状況を把握し、年間を通して系統的、組織的な研修が行われるよう努めるものとする。

6 実施協議会

- (1) 県教育委員会は、次の事項について協議を行うため、実施協議会を設置する。
 - ① 研修計画
 - ② 評価基準
 - ③ その他実施上の諸問題
- (2) 実施協議会の設置要綱は、別に定めるとする。

7 その他

この要項に定めるもののほか、経験者研修の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

附則

この要項は、平成21年4月1日から実施する。

Ⅱ 幼稚園教職 10 年経験者研修の概要

1 本県における幼稚園教職 10 年経験者研修の方針

幼稚園教育は学校教育の出発であり、幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、10 年を経験した教員が個々の能力や適性等に応じ、各園での中堅としての役割を果たせる指導力を養うことは重要な課題である。

また、少子化、核家族化、都市化・過疎化、国際化、情報化、女性の社会進出などの幼児を取り巻く社会変化により、幼稚園が地域において果たす役割も増えてきている。

そのような中、幼稚園教員として10 年を経験した教員に求められる資質には、以下のことが考えられる。

- 幼稚園における教育課程を理論的に理解し、日常の保育について総合的にアドバイスできる能力
- 保護者等に対し、子どもの発達の道筋やしつけなどに関する啓発を行ったり、育児に関する相談に乗ったりする資質
- 幼稚園全体を見渡し、組織的に幼稚園が機能できるよう後輩や園長等をサポートする能力
- 発達の差の大きい幼児に対して、それぞれの発達を理解し、それに応じた指導ができる能力

そこで、中堅教員としての資質向上を図るため、幼児教育センターにおける保育の専門性を高める研修や現在幼稚園に求められている今日的課題等についての研修、及び自らの課題や適性等に応じた園内研修等を取り入れ、以下のような重点項目を設定し実施する。

(1) 子どもの発達を的確に見通した教育

- ・ 幼児期から児童期への教育や接続期の指導の在り方等に関する講話と演習、協議
- ・ 幼児期から思春期までを見据えた発達に関する講話

(2) 今日的課題に対応した幼稚園の在り方

- ・ 幼児教育の方向性を踏まえた教育課程に関する講話と演習、協議
- ・ 保護者とのかかわりに関する講話と演習、協議

(3) 中堅教員（主任）としての役割

- ・ 幼児教育の方向性やミドルリーダーとしての役割等に関する講話と演習、協議
- ・ 幼稚園における組織マネジメントに関する講話と演習、協議

2 幼稚園教職10年経験者研修体系図

能力・適性等の評価・研修計画書の作成《4・5・6月》

- 園長は研修の実施に当たり、任命権者の作成した評価基準に基づき、事前に観察などを通して個々の教諭等の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案及び研修計画書案を作成する。
- 任命権者は、園長から提出された評価案と研修計画書案について調整を行い、最終的に評価を決定し研修計画書を作成する。



センター等における研修(6日) (詳細は年度当初に提示)

	共通研修・保育専門研修 (5日)	選択研修 (1日)
4～7月	(共) 講話「本県教育の現状と課題」 研修オリエンテーション 他 (専) 講話「今後の幼児教育の方向性」 「中堅教員としての役割」 他	(幼) 幼・保・小教職員相互職場体験研修 (幼) 合同研修 (幼・保・小) (連) 教頭・主任講座
夏季休業	(専) 講話「発達心理学講座」 協議「私の課題とその解決策 (第1日)」 ----- (専) 講話「中堅教員のための組織マ ネジメント研修」 他	(幼) 特別支援教育研修 (第1・2日) (幼) スキルアップセミナー
9～12月	(共) 講話「幼児期から児童期への教 育」 (専) 演習「幼児理解」	(連) 宇大附属幼稚園公開研究会 (連) 保育セオリー研修 (幼) スキルアップセミナー
1～3月	(専) 協議「私の課題とその解決策 (第2日)」 (共) 講話「今、教員に求められるもの」	(幼) 教育研究発表大会 幼・保・小連携部会



園内等における研修(10日)《主に9～2月》

研究保育	○ 指導計画作成、環境構成、保育実践の流れを園長等が評価し、指導助言を行う。 (評価結果を念頭に置いた外部講師による指導助言も有効)
課題研究	○ 特定のテーマ(園外研修の研修項目等)を選定し研究を行い、過程・成果について園長等が指導助言を行う。



研修成果の評価《年度末》

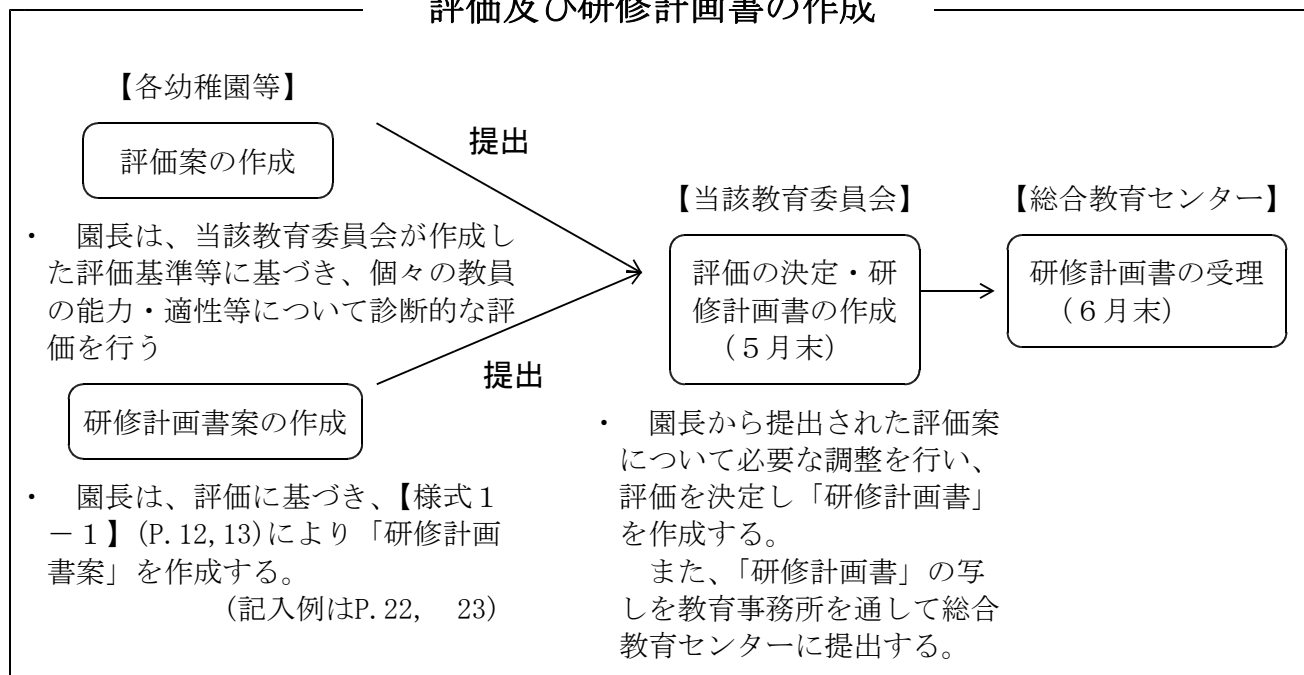
- 研修終了時に、個々の能力、適性等を再び評価し、その結果をその後の研修等に活用する。

(共) 他校種との共通研修 (専) 保育専門研修 (連) 幼稚園連合会主催の研修
(幼) 幼児教育センターの研修

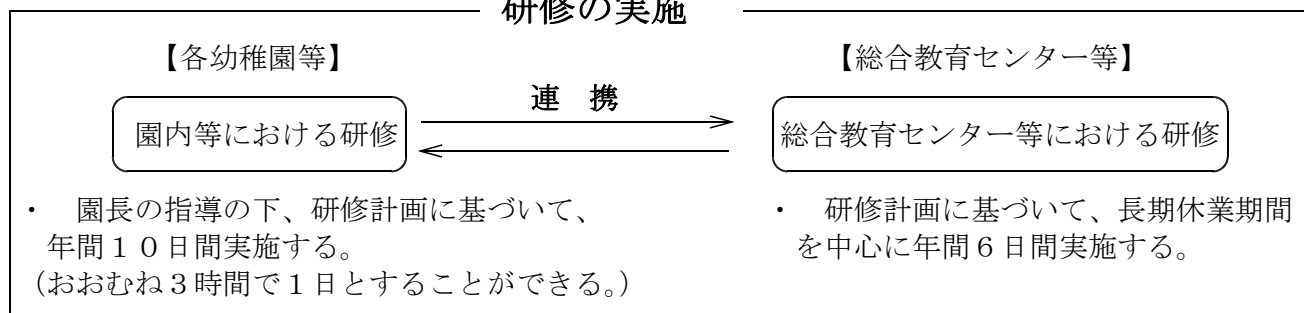
Ⅲ 受講手続きの流れ

1 公立幼稚園

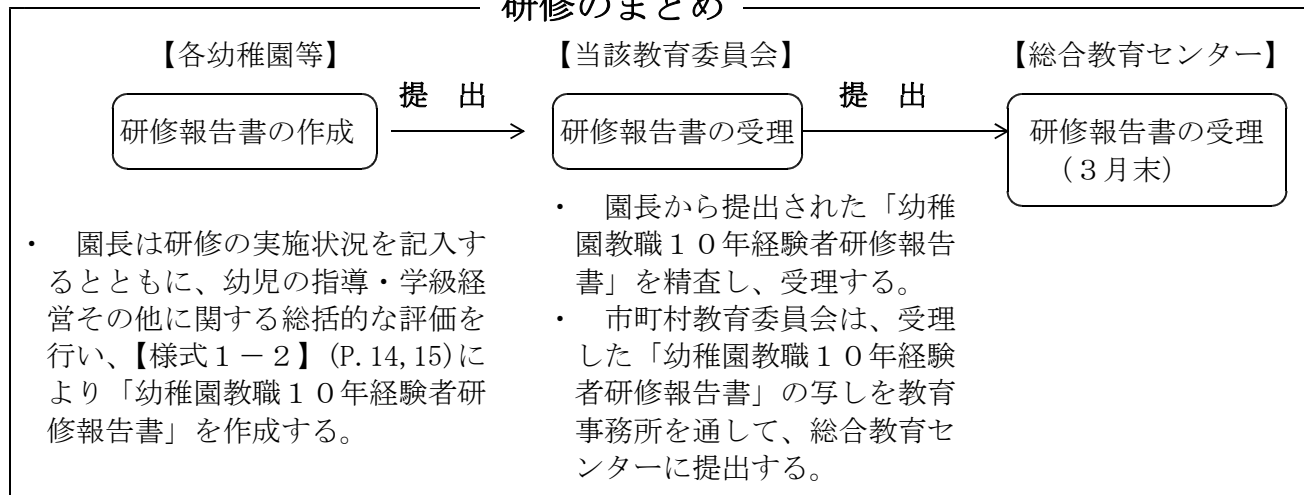
評価及び研修計画書の作成



研修の実施



研修のまとめ



2 国・私立幼稚園

評 価

【各幼稚園等】

評価の実施及び決定

- ・ 園長は、県教育委員会が示した様式（P. 20, 21）を参考にし評価表を作成し、個々の教員の能力・適性等について、診断的な評価を行い評価を決定する。

研修計画書の作成

【各幼稚園等】

研修計画書の作成

提 出（FAX）

【総合教育センター】

研修計画書の受理
（6月末）

- ・ 園長は、評価に基づき、【様式1－1】（P. 12, 13）により「研修計画書」（記入例はP 22, 23）を作成する。また、その写しを総合教育センターに提出する。

研修の実施

【各幼稚園等】

園内における研修

連 携

【総合教育センター等】

園外における研修

- ・ 園長の指導のもと、研修計画に基づいて、年間10日間実施する。
（おおむね3時間で1日とすることができる。）
- ・ 研修計画に基づいて、長期休業期間を中心に年間6日間実施する。

研修のまとめ

【各幼稚園等】

研修報告書の作成

提 出（FAX）

【総合教育センター】

研修報告書の受理
（2月末）

- ・ 園長は、研修の実施状況を記入するとともに、幼児の指導・学級経営その他に関する総括的な評価を行い、今後の研修に生かしていく。また、【様式1－2】（P. 14, 15）により「幼稚園教職10年経験者研修報告書」を作成し、その写しを総合教育センターに提出する。

Ⅳ 総合教育センター等における研修

1 趣旨

総合教育センター等における研修は、幼児の発達の理解や環境を通して行う保育の在り方等に関して、広い視野に立った豊かな識見、確かな理論、優れた実践的指導力等を養うことを目的とする。

2 日程及び内容

区分	期日	曜	研 修 内 容	会場	開 催 時 間 等
第 1 日	5/23	月	開講式 講話「本県教育の現状と課題及び10年 経験教職員への期待」 他 講話「今後の幼児教育の方向性」 講話「とちぎの子どもたちの生活状況調査」 講話「中堅教員としての役割」 研修オリエンテーション	総 合 教 育 セ ン タ ー	9時30分～16時 (受付9時)
第 2 日	7/29	金	講話「発達心理学講座～子どもの自我の 発達～」 実践報告とグループ協議（1） 「私の課題と解決策」		9時30分～16時 (受付9時)
第 3 日	8/5	金	講話・演習 「中堅教員のための組織マネジメン ト研修」 講話・演習 「保護者とのコミュニケーションづ くり」		9時30分～16時 (受付9時)
第 4 日	夏季休業 中など		手引に示された研修から選択	各 会 場	各計画のとおり
第 5 日	11/1	火	講話「幼児期から児童期への教育」 協議「接続期の指導の在り方と子ども理 解」 講話・協議 「幼児理解～主体性と協同性～」	総 合 教 育 セ ン タ ー	9時30分～16時 (受付9時)
第 6 日	1/6	金	実践報告とグループ協議（2） 「私の課題と解決策」 講話「今、教員に求められるもの」 閉講式		9時30分～16時 (受付9時)

3 選択研修

	研 修 名	期 日 等	会 場	手 続 き
幼稚園 連合会 研修	○保育セオリー研修	7/6 10/26 12/16	コンセーレ 大ホール他	幼稚園連合会に申し込む。
	○教頭・主任講座	7/2	総合教育セン ター	
	○栃木県幼稚園教育研究大会（分科会）	7/27	各会場	
	○附属幼稚園公開研究会	6/16	宇都宮大学 附属幼稚園	宇都宮大学附属幼稚園から 送付される案内に従って申 し込む。
幼児 教育 セン ター 研 修	○特別支援教育研修 《特別支援を要する幼児の 保育に関する内容》	8/1 8/24	総合教育セン ター	「幼児教育センターガイド ブック」の巻末の申込書に て申し込む。
	○幼・保・小教職員相互職 場体験研修（3日間） 《2日間小学校の教育を体 験する。体験日の日程は相 互に調整する。》	事前説明会 6/3 6/6 6/13 6/20 ※地区毎にいずれか 1日に参加	総合教育セン ター 他	研修者の決定については市 町村教育委員会及び保育所 主管課が行う。対象となっ た場合には選択研修とする ことができる。
	○合同研修（幼・保・小）	5/27 5/30 5/31 7/12 ※地区毎にいずれか 1日に参加	総合教育セン ター 他	「幼児教育センターガイド ブック」の巻末の申込書に て申し込む。
	○スキルアップセミナー 《実技を通して保育技術の 向上を目指す内容》	8/23 8/26 9/9	総合教育セン ター 他	「幼児教育センターガイド ブック」の巻末の申込書に て申し込む。
そ の 他	○地域の幼・保・小の合同 研修会等への参加		各会場	各研修会の申込に従って申 し込む。
	○特別支援学校の見学（一 覧表参照）	公開日については、電 話等で確認する。 （注）初めて相手校や 施設等へ連絡する時は 園長等が窓口となる。	各会場	口頭で申し込み後、【様式 3】（P. 18）にて相手 学校等に文書を送付する。
	○栃木県教育研究発表大会	1/27 1/28	総合教育セン ター	総合教育センターホームペ ージから直接申し込む。

※いずれの研修も研修終了後、担当者に受講票への押印をお願いする。

V 園内等における研修

1 趣旨

園内研修は、総合教育センター等における研修において習得した知識や経験をもとに、研修教員の能力、適性等に応じた研修を行うことによって、個々の専門性の向上や得意分野の伸長を図る。

2 研修日数

研修は、年間10日実施する。

3 研修内容及び方法

(1) 内容

研修内容は、評価の結果に基づき、「園内等における研修項目（例）」(P. 24, 25)を参考に設定する。

(2) 方法

研修は、基本的に園内において実施し、園長等の指導及び助言を受けるものとする。

4 指導体制

(1) 園長は、教職員全体に対し、本研修の内容及び運営について理解を求めるとともに、園や研修教員の実情、指導内容と園務分掌との関連等に配慮して、園内等における研修の推進体制を作る。

(2) 園長等は、研修教員に対し、講話や保育研究等の指導及び助言を行い、年間を通して計画的、組織的な研修となるよう、園内教職員との連絡・調整を図る。

5 実施上の配慮事項

園長は、研修教員の個性や経験の状況に応じ、研修方法や形態を工夫するとともに、研修教員本人の自己評価や意見等を聴取することによって、研修教員が主体的に研修できるよう配慮する。

VI 課題研究

1 趣旨

研修教員の資質・能力や園の実情に応じて、幼児教育における今日的な課題をもとに研究テーマを設定し、主体的に課題の解明に取り組むことにより、実践的指導力の向上を図る。

2 研究テーマの設定

次のような例を参考にし、研究テーマを設定する。

《研究テーマの例》

- ・ 幼児理解に基づく教材の工夫
- ・ 主体的な活動を促す環境の構成
- ・ 協同的な活動の実践
- ・ 発達障害の理解と保育実践
- ・ 小学校との連携
- ・ 指導計画の評価と改善
- ・ 同僚性を発揮した職員関係づくり

3 研究の進め方

- (1) 研修教員は、園の実情や各自の課題意識、総合教育センター等における研修の第1日（5/23）の研修オリエンテーション等をもとに、研究テーマを設定する。第2日（7/29）までに、【様式2—1】（P. 16）「課題研究計画書」を作成する。
- (2) 総合教育センター等における研修の第2日（7/29）に、課題の進め方や研究の途中経過等について課題研究計画書をもとに検討する。
- (3) 研修教員は、課題研究の実施計画について、園長等の指導及び助言を得ながら第6日（1/6）までの間に自主的、計画的に課題を追及する。その際、課題研究の検証の場として公開保育を行ったり、園内等における研修で提案したりすると、効果的である。
- (4) 研修教員は、園長、幼児教育センター職員等からの指導及び助言を参考にして研究を進め、総合教育センター等における研修の第6日（1/6）に、課題研究成果発表を行う。

4 研究の実施報告

研修教員は、総合教育センター等における研修の第6日（1/6）に、【様式2—2】（P. 17）「課題研究報告書」及び課題研究成果発表資料を持参し、提出する。

《MEMO》

○ 提出書類【様式】

【様式 1－1】 幼稚園教職 10 年経験者研修計画書

【様式 1－2】 幼稚園教職 10 年経験者研修報告書

【様式 2－1】 課題研究計画書

【様式 2－2】 課題研究報告書

【様式 3】 特別支援学校等への依頼書（例）

（注）文書の形式は A 4 判、縦長、横書きとします。

※様式については、総合教育センターホームページよりダウンロードできます。

とちぎ学びの杜

検 索



- 特別支援学校の連絡先
- 幼稚園教職 10 年経験者研修評価表 ー参考例ー
- 研修計画書（例）
- 園内等における研修項目（例）
- 提出文書等チェックリスト

【様式 1 — 1】

幼稚園教職10年経験者研修計画書

研修者所属園名

研 修 者 名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容等

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等

(公立幼稚園)
 ○○教育委員会教育長 様
 (私立幼稚園)
 ○○幼稚園理事長 様

平成 年 月 日

上記を当該研修教員の研修計画とします。

幼稚園名
 園 長 名

印

【様式 1—2】

幼稚園教職10年経験者研修報告書

研修者所属園名

研 修 者 名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容及び成果等

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び成果等

(公立幼稚園)
 ○○教育委員会教育長 様
 (私立幼稚園)
 ○○幼稚園理事長 様

平成 年 月 日

上記を当該研修教員の研修報告とします。

幼稚園名
 園 長 名

印

【様式 2—1】課題研究計画書

平成〇〇年度教職 10 年経験者研修課題研究計画書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

【様式 2—2】 課題研究報告書

平成〇〇年度教職 10 年経験者研修課題研究報告書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

4 研究の成果と今後の課題

【様式 3】 特別支援学校等への依頼書（例）

平成 年 月 日

受け入れ先名 様

幼稚園名

園 長 名

印

栃木県幼稚園教職 10 年経験者研修における学校等見学について（依頼）

栃木県教育委員会が行う標記の件に関しまして、下記のとおり依頼しますのでよろしくお願い
いたします。

記

1 研修者職氏名

2 研修日

3 研修の目的

幼稚園名
電話番号
FAX 番号

特別支援学校の連絡先

学 校 名	連 絡 先
県立盲学校	宇都宮市福岡町1297 ☎ 028-652-2331
県立聾学校	宇都宮市若草2丁目3-48 ☎ 028-622-3910
県立のざわ特別支援学校	宇都宮市岩曾町1177-2 ☎ 028-689-2655
県立わかくさ特別支援学校	宇都宮市駒生町3337-1 ☎ 028-622-3650
県立富屋特別支援学校	宇都宮市徳次郎町39-1 ☎ 028-665-2281
県立岡本特別支援学校	宇都宮市下岡本町2160 ☎ 028-673-3456
県立今市特別支援学校	日光市瀬尾1640-22 ☎ 0288-22-6417
県立国分寺特別支援学校	下野市柴6-2 ☎ 0285-44-5121
県立栃木特別支援学校	栃木市皆川城内町1053 ☎ 0282-24-7575
県立足利特別支援学校	足利市大沼田町619-1 ☎ 0284-91-1110
県立足利中央特別支援学校	足利市大月町871-3 ☎ 0284-41-1185
県立益子特別支援学校	益子町七井3650 ☎ 0285-72-4915
県立那須特別支援学校	那須塩原市下永田8丁目7 ☎ 0287-36-4570
県立南那須特別支援学校	那須烏山市藤田1181-152 ☎ 0287-88-7571



幼稚園教職10年経験者研修評価表 — 参考例 —

※評価の基準は以下の通り

A：在職期間が10年を経過した教諭に求められる一般的な程度を十分満たしている。

B：在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を満たしている。

C：在職期間が10年を経過した教諭に求められる最低限の程度を満たしていない。

幼稚園名	(研修前評価年月日) 平成 年 月 日 (研修後評価年月日) 平成 年 月 日
研修対象者氏名	(園長名) 印 (任命権者) 印

項目	種 類	詳 細 等	評 価			留意すべき事項
			A	B	C	
1 幼 児 の 保 育 に 関 する 評 価 項 目	(1) 計 画	① 園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。 ② 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 ③ 日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。 ④ ティーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。	研修前			
			研修後			
	(2) 環境の設定	① 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。 ② 他学級との関係、自然環境、地域の特徴などを生かす保育の場の設定をしている。 ③ 季節や1日の流れなどの時間的要因も環境として捉え、保育に生かすよう配慮している。 ④ 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成できる。	研修前			
			研修後			
	(3) 保育の方法・展開	① 個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。 ② 温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。 ③ 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 ④ 幼児と共に動き、活動することを心から楽しむことができる。 ⑤ 幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。 ⑥ 活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを適切な言葉と行動で示している。 ⑦ 個々に応じた適切な援助を行っている。	研修前			
			研修後			
	(1) 学級経営	① 個々の幼児を学級の一員として大切にすることで、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。 ② 施設設備の安全管理、幼児への安	研修前			

2 学級経営その他に関する評価項目		全指導が万全である。	研修後		
	(2) 保護者への対応	① 家庭との連携が緊密で、個々の幼児について、入園前や家庭などでの生活の様子を把握し保育に生かしている。 ② 保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている。 ③ 事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。	研修前		
			研修後		
	(3) 地域との関係	① 機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう、努力している。 ② 地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。 ③ 地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を持っている。	研修前		
			研修後		
	(4) 園務	① 園全体の運営方針・目標を把握し職務全般に反映させている。 ② 園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をしている。 ③ 必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談を行っている。	研修前		
研修後					
(5) 向上心	① 自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている。 ② 園や連合会など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。 ③ 自主的に園外の研修等に参加し、成果を実践に生かしている。 ④ 新しい保育の進め方、行事の在り方について創意工夫し、積極的に取り組んでいる。	研修前			
		研修後			
3 研修履歴等の経験等	(1) 研修履歴				
	(2) これまでの勤務園における研修への関わり				
	(3) 研究団体における活動				
	(4) その他				
4 今後の研修方針	(研修終了後)				

研修計画書（例）

研修者所属園名

研 修 者 名

◇総合教育センター等における研修

期日	研修名及び研修場所、主催者等	研修内容等
5/○	開講式 講話「本県教育の現状と課題及び 10年経験教職員への期待」	
7/○	幼稚園連合会主催 教頭主任講座 ○○県○○市○○幼稚園	保育参観 ・満3歳児クラスの保育 ・教材及び活動 ・地域や保護者との連携 ・特色 主任の役割について（講話） ・教員等の育成について ・園務のコーディネートについて
8/○	幼児教育センター主催 特別支援教育研修 総合教育センター	「子どもの発達とその支援」 ・指導に特別な配慮を必要とする子どもの理解と指導の 在り方
9/○	県立○○特別支援学校介護等体験 県立○○特別支援学校	特別支援教育の現場見学（説明） ・訓練の目的・自立支援の在り方 ・介護のしかた等の理解 介護等の体験 ・訓練及び介護の体験

◇園内等における研修

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等
5/○	園内研修の企画・運営① （3時間） 自園	テーマの設定「行事について考える」 ・全職員で幼児の実態を明らかにし、テーマの設定に ついての協議 ・研究の方向性について決定 「行事を作るとは一遠足で出会わせたい物、ことー」 （全職員）
5/○	園内研修の企画・運営② （3時間） 自園	「テーマについての提案作成」（研修者） ・各クラスの遠足に向けての取組 ・遠足で子どもたちに体験してほしいこと、出会わせ たい物、こと、そのための準備 「研修計画の作成、役割分担の決定」 （職員の得意分野を生かす） ・行事についての文献提案担当 ・遠足についての昨年度の記録提案担当 ・行き先の提案担当 ・配付資料の作成・準備
○○	園内研修の企画・運営③ （3時間）	「研修計画、役割分担について説明ー1」（研修者） ・テーマについて提案

	自園	・各教員からの資料に基づく提案 ・協議 ・協議の進行・まとめ (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営④ (3時間) 自園	「研修計画、役割分担について説明—2」(研修者) ・前回の記録と、さらに明らかにしたいこと ・次回の提案事項の作成・説明資料準備 ・6回目の研修の講師手配 ・職員に割り振った役割について助言 (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑤ (3時間) 自園	「行事について考える」 ・前回の記録と、さらに明らかにしたいことの説明 ・協議の進行・まとめ (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑥ (3時間) 自園	「外部講師による『幼稚園における行事の考え方』の講話と質疑」 (全職員)
〇〇	園内研修の企画・運営⑦ (3時間) 自園	「行事について考える」(研修者) ・シリーズで行ってきた園内研修のまとめの作成 (テーマのとらえ、協議の内容、まとめ)
〇〇	自己点検・自己評価① (3時間)	「幼稚園の自己点検・自己評価—1」 ・自分の幼稚園の教育等に関する自己点検、自己評価について全職員に説明(研修者) ・自己点検、自己評価の実施 (全職員)
〇〇	自己点検・自己評価② (3時間)	「幼稚園の自己点検・自己評価—2」 ・全職員の点検結果をまとめる ・次回提案資料の準備(説明資料の形式)
〇〇	自己点検・自己評価③ (3時間)	「幼稚園の自己点検・自己評価—3」 ・結果のまとめについて提案(研修者) ・努力点、さらに伸ばしたい点について具体的な方策を考え、それを明記した保護者や地域の方対象のパンフレットを作成する。 (全職員)

平成 年 月 日

(公立幼稚園)
〇〇教育委員会教育長 様

(私立幼稚園)
〇〇幼稚園理事長 様

上記を当該研修教員の研修計画とします。

幼稚園名

園長名

印

園内等における研修項目（例）

	項 目	内 容
保育の方法・展開	ア 指導計画の作成・検討 （指導案、評価、教材作成等）	○ 公開保育の日案を作成する。 園長をはじめ全職員で検討会を行う。
	イ 公開保育 ①園内を対象 ②保護者等を対象 ③未就園児の保護者等を対象	○ 公開保育を行う。保護者対象の場合、保育後に、保育の意図を説明する。
	ウ 保育研究	○ 保育研究（園長、教頭、主任、教員） ① 保育について（研修者） ② 協議（全員） ・子どもの学びについて ・環境の構成について ・教師の意図と援助について ③ まとめ（園長）
園内研修の企画・運営	ア 研修テーマの設定	研修テーマ例 ・教材研究「もの」を保育でどう生かすか ・教材研究「絵本」「歌」外 ・研究協議「行事について考える」 ・特別な支援を必要とする幼児の理解と指導 ・地域の自然を生かした活動 ・協同的な活動に焦点を当てた保育の研究
	イ 内容方法の検討 ・職員の得意分野を生かした研修への活用 ・研修テーマに迫るための資料準備	
	ウ 研修の実施（シリーズ化） 数回に分け、研修テーマを深める	
	エ 研修のまとめ ・研修テーマの捉え ・実践から ・結論	
課題研究	ア 総合教育センター等における研修の 課題研究の検討と発表 （課題研究のテーマ例） ・幼児理解に基づく教材の工夫 ・主体的な活動を促す環境の構成 ・協同的な活動の実践 ・小学校との連携 ・指導計画の評価と改善 ・同僚性を発揮した職員関係づくり	○ 課題研究のテーマについて理解を深める。（４月） （例）幼児が協同して遊ぶようになるためには、どのような環境の構成が必要か。
		○ 保育実践での幼児の姿を記録にとる。 （４月～７月）
		○ 記録について園内研修等で、多角的に検討する。 （５月～９月）
		○ テーマに沿って検討した結果をまとめる。 ・テーマのとらえ ・実践から

		・ 結論 (10月)
		○ 園内研修で発表する。 (11月)
園 の 諸 課 題	ア 自己点検・自己評価	○ 「学校評価の手引」等を参考に自己評価を全職員で実施する。 (12月)
		○ 結果をまとめる。(主任等)
		○ 結果について全職員で話し合い、各項目について具体的な改善策を考える。 (1月～2月)
	イ 説明責任・情報提供	○ 評価の結果と改善策を保護者や地域の方へのパンフレットとしてまとめる。 (2月～3月)
地 域 と の 連 携	ア 子育ての支援	○ 外部講師等による講話・演習 「親からの相談、苦情を受けたとき」
	イ 「親と子の育ちの場」としての幼稚園の在り方	○ 行事等の企画 地域のボランティアや父親を巻き込んだ行事等の企画 例・絵本の読み聞かせ ・地域の人材を活用した体験活動 ・スポーツ教室
そ の 他	ア 新規採用教員に対する指導	○ 教師としての心構えについて ○ 接遇について ○ 指導計画について ○ 保育について ○ 個人懇談の仕方について ○ 幼児の危機管理について
	イ 地域環境探索	○ 保育に生かせる地域環境の实地踏査 ○ 地域環境のもつ教育的価値を一覧表にまとめる。



提出文書等チェックリスト

提出文書等	提出期限
☐ 研修計画書	6 月末
☐ 課題研究計画書	7 月 2 9 日（第 2 日）
☐ 課題研究報告書	1 月 6 日（第 6 日）
☐ 研修報告書	3 月末(公立幼稚園) 2 月末(国・私立幼稚園)

とちぎ学びの杜

検索



**栃木県幼児教育センター
(栃木県総合教育センター内)**

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

e-mail : yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

